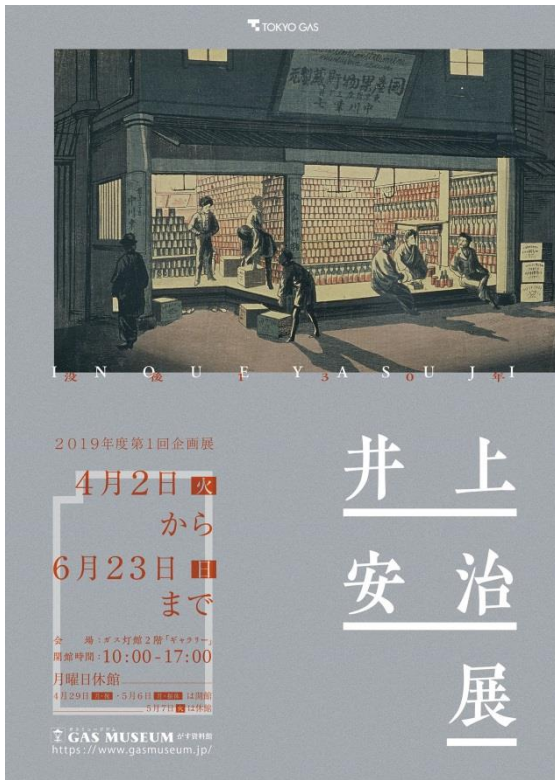


【東京ガス ガスミュージアム】 没後130年「井上安治」展 開催のお知らせ

東京ガスのガスミュージアムでは、2019年4月2日（火）から6月23日（日）まで、ガス灯館2階「ギャラリー」にて、2019年度第一回企画展『没後130年「井上安治」展』を開催いたします。



元治元年(1864)に浅草に生まれた井上安治(いのうえやすじ)は、「光線画」の作品で人気を博していた小林清親へ15歳で入門し、明治13年(1880)には早くも作品を発表しました。

師の作風を模倣しつつも自身の感性で捉えた東京風景を表現し、師の清親が「光線画」を手がけなくなった明治14年(1881)以後も作品を描き続けました。

明治14年(1881)から没年まで手がけた、134点の作品を数える「東京真画名所図解」と呼ばれる一連の作品は安治の代表作で、開化東京の風景を題材に取り上げて描きあげました。

明治17年(1884)からは、「探景(たんけい)」の画号を用いて三枚続きの開化風景や教訓画、時事報道関係、相撲絵なども描くようになりました。

しかし、明治22年(1889)に26歳の若さで急逝し、惜しくもその活躍は終わりを迎えました。

今回の展示会では、17歳でのデビューから26歳で亡くなるまでに描いた、明治東京の風景画や開化絵などのさまざまな作品から、「井上安治」の活動の軌跡をご紹介します。

【会期】2019年4月2日（火）～6月23日（日）

【休館日】月曜日 ※4月29日（月・祝）・5月6日（月・振休）開館、5月7日（火）休館

【開館時間】午前10時～午後5時

【会場】ガスミュージアム（GAS MUSEUM がす資料館）ガス灯館2階 ギャラリー

【入場】無料

【問合せ先】ガスミュージアム（GAS MUSEUM がす資料館）

住所：東京都小平市大沼町4-31-25 TEL：042-342-1715/FAX：042-342-8057

受付時間：月曜日を除く10:00～17:00 ※月曜日が祝日の場合は開館、火曜日休館

<https://www.gasmuseum.jp/>